

保育者の自己評価のためのチェックリスト 2024(R6) 結果

氏名 _____

A かなりできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない

第一章 総則

1, 教育及び保育の基本と目標

| | 設 問 | A | B | C | D |
|---|-------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 1 | 幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解している。 | 36% | 64% | 0% | 0% |
| 2 | 乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解している。 | 82% | 18% | 0% | 0% |

2, 特に配慮すべき項目

(1) 教育及び保育の配慮

| | 設 問 | A | B | C | D |
|---|-----------------------------------|-----|-----|----|----|
| 3 | 登園時の子どもの健康観察を行っている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 4 | 子ども一人一人に分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけている。 | 64% | 36% | 0% | 0% |
| 5 | 登園時、泣く子どもに対して放っておいたり、叱ってしまうことはない。 | 82% | 18% | 0% | 0% |

(2) 健康支援

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|---------------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 6 | 子どもの中に感染症が発生した時、すぐに予防対策を行っている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 7 | 疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 8 | 子どもの体調が悪くなった時に、保護者と連絡を取るようにしている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 9 | 子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 10 | 園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身につけるよう保護者との連携に努めている。 | 73% | 27% | 0% | 0% |

(3) 食育

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|----------------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 11 | 子どもの体調に応じ食事の量を調整したり、また食べ物を残したり偏食したりする時は、過度に叱らないよう心掛けている。 | 82% | 12% | 0% | 0% |
| 12 | その日の昼食の食べ具合など、必要に応じて保護者に知らせている。 | 82% | 12% | 8% | 0% |
| 13 | 食べることが楽しい雰囲気を作り、喜んで食事が出来るようにしている。 | 82% | 12% | 0% | 0% |
| 14 | 野菜やサツマイモを栽培し、観察や収穫を通し、食への興味関心が高まるよう心掛けている。 | 55% | 45% | 0% | 0% |
| 15 | 食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携し、除去食を取り入れるなどの配慮をしている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |

第二章 子どもの発達

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-----------------------------------------------------|-----|----|----|----|
| 16 | 子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 17 | 子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育をしている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |

| | | | | | |
|----|-----------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 18 | 子どもが興味関心を示し、主体的に関わる環境を用意している。 | 55% | 45% | 0% | 0% |
| 19 | 園の生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っている。 | 64% | 36% | 0% | 0% |

第三章 「ねらい」及び「内容」

1, 保育内容 「健康」

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|---------------------------------------------------|------|-----|----|----|
| 20 | 一人一人の子どもが明るく伸び伸び遊べるよう、いつも見守っている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 21 | 健康的な生活のリズムを身につけるよう、一日の保育の時間配分や家庭との連携を取っている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 22 | 食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしている。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 23 | 生活に必要な習慣が身に付くよう、家庭との連携に努めている。 | 73% | 27% | 0% | 0% |
| 24 | 災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震等を想定した避難訓練を行っている。 | 100% | 0% | 0% | 0% |

2, 保育内容 「人間関係」

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|---------------------------------------------------------|-----|-----|-----|----|
| 25 | 自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後の達成感を味わえるよう配慮している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 26 | 友達と積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大切にしている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 27 | 良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助している。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 28 | 高齢者の方に親しみをもちような機会を保育に取り入れている。 | 27% | 55% | 18% | 0% |

3, 保育内容 「環境」

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|---------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 29 | 子どもが自然を観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さに気づくように援助している。 | 55% | 45% | 0% | 0% |
| 30 | 園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことが出来るように、環境を工夫している。 | 27% | 73% | 0% | 0% |
| 31 | 身近な動植物を飼育・栽培する中で、それらを可愛がったり、いたわったりする体験を大切にしている。 | 27% | 73% | 0% | 0% |
| 32 | 数量や図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を意識するなど、工夫して保育している。 | 55% | 45% | 0% | 0% |

4, 保育内容 「言葉」

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-------------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 33 | 子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育をしている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 34 | 子どもが分からないことを尋ねたり出来るように、ゆったりと子どもの言葉を聞き、応答する雰囲気を作っている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 35 | 「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、それを理解して使うことが出来るように配慮している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 36 | 紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉の面白さに気づく様に心掛けている。 | 73% | 27% | 0% | 0% |

5, 保育内容 「表現」

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-------------------------------------------------|------|-----|----|----|
| 37 | 歌ったり踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助している。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 38 | 感動したことを伝え合う機会を作り、豊かに表現できるよう援助している。 | 73% | 27% | 0% | 0% |
| 39 | 子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみをもち、楽しめるように工夫している。 | 73% | 27% | 0% | 0% |
| 40 | 自分のイメージを言葉や身体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っている。 | 73% | 27% | 0% | 0% |

第四章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1, 乳児期の保育に関する配慮事項

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|----------------------------------------------------------|------|-----|----|----|
| 41 | 保育者として、服装や身支度にも配慮し、自らの健康と清潔を常に心掛けている。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 42 | 室内の温度や湿度、寒気を絶えずチェックし発育及び発達の状態をよく把握した上で常に身体の状態を細かく観察している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 43 | 一人一人おむつを交換する度に、手洗いを徹底している。 | 73% | 27% | 0% | 0% |
| 44 | 一人一人の子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保している。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 45 | 床に誤飲しそうな物が落ちていないように、十分注意を払っている。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 46 | 戸外遊びを行うなどの機会を設け、身体を適度に動かす遊びや、リズムを伴ったふれ合い遊びを十分に取り入れている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 47 | 子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から園医やかかりつけ医などとの連携がとれている。 | 91% | 9% | 0% | 0% |

2, 満3歳児未満児の保育に関する配慮事項

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-----------------------------------------------|------|----|----|----|
| 48 | 基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせて、無理なく行っている。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 49 | 子どもの手の届く範囲にある物の安全性については、いつも確認している。 | 100% | 0% | 0% | 0% |
| 50 | 自分でやり遂げる喜びや自信を持つことが出来るよう、配慮している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |
| 51 | 進級などで保育者が変わる場合は子どもが不安にならないように職員間で情報を共有している。 | 91% | 9% | 0% | 0% |

第五章 指導計画作成にあたっての配慮すべき事項

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-----------------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 52 | 指導計画は、「教育課程」「保育課程」などに基づいて作成し、1年に1回以上確認するなどの会議を開いている。 | 45% | 55% | 0% | 0% |
| 53 | 指導計画には、教育及び保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されている。 | 64% | 36% | 0% | 0% |
| 54 | 子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれている。 | 64% | 36% | 0% | 0% |
| 55 | 入園時期には生活のリズムや安全性に十分配慮して指導計画を作成している。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 56 | 日々の保育記録は、子ども一人一人の発達を理解し、日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合っている。 | 46% | 45% | 9% | 0% |

第六章 研修と自己評価

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|---------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 57 | 園の教育理念や、基本方針を正しく理解している。 | 64% | 27% | 0% | 0% |
| 58 | 園の内外における研修・研究活動に積極的に参加している。 | 46% | 45% | 9% | 0% |
| 59 | 自己評価などで課題を見つけ、その課題解決のために計画的に自己研鑽している。 | 45% | 46% | 0% | 0% |

第七章 子育て支援

| | 設 問 | A | B | C | D |
|----|-----------------------------------------------------|-----|-----|----|----|
| 60 | 子育ての悩みなどを安心して話せるように送迎の際、保護者と言葉を交わしたり情報を交換するようにしている。 | 73% | 18% | 9% | 0% |
| 61 | 保護者からの相談内容を自分一人の問題にしないで、園全体で受け止めるようにしている。 | 82% | 18% | 0% | 0% |
| 62 | 地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など、園の子育て支援の取り組みを理解している。 | 55% | 36% | 9% | 0% |
| 63 | 一人一人の子どもについて、虐待に気づけるよう配慮している。 | 82% | 18% | 0% | 0% |

自己評価を基に、今後の課題、改善策について

- ・職員間で連携を取りながら、トイレトレーニングなど行うことが出来、良かった。職員間の連携、コミュニケーションの大切さを感じた。
- ・行事に追われることも多いが、そんな中でも絵本を読む時間を作ることが出来た。
- ・行事の準備にも積極的に参加し、子ども達と全力で行事に向かい楽しむことが出来た反面、行事に向かったの進め方や、共通理解の難しさを感じたので、職員同士の情報の共有にも力を入れていきたい。
- ・園全体での情報共有は出来ていたが、その後の対応について同じように進めていくことが難しかったので、今後は気をつけていきたい。
- ・年長児は行事に追われることも多いので、時間にゆとりを持って紙芝居や絵本を読み、ゆっくり過ごす時間を作れるよう取り組んでいきたい。
- ・子供の「なぜ?」「どうして?」に注意深く耳を傾げるだけでなく、図鑑などを一緒に見て調べたり実際に試してみるなど踏み込んだ学びにつなげていきたい。
- ・植物の観察などについては興味関心を持つことが出来たが、動物については今後、活動を取り入れられるようにしていきたい。
- ・行事の関係で、保育から離れる時間も多かったので、子供との時間を大切にしながら、行事にも携われるような方法を考えたり、行事の見直しなどを考えていければと思う。
- ・言葉掛けについて、難しい言葉を使っている時もあると思うので、子ども達が分かり易い言葉掛けを意識していかなければと思った。
- ・保護者とは送迎の際に些細なことでも伝えるようにしているが、園医との関わりは検診時以外にはないので、医師の立場からの助言や指導をその都度頂ける様な関係作りも必要だと思った。
- ・キャリアアップ研修を受講しとても勉強になったので、他の分野にもチャレンジし、保育者としての専門的な知識を深め、現場に活かしたいと思っている。
子供の姿をしっかり捉え、子供が育つ保育環境を設定出来るように配慮していきたい。
- ・子ども達と一緒に嬉しい時には一緒に喜び、悲しい時には思いを受け止め、子ども達に寄り添うことが出来たと思う。時々肯定的な言葉ではなく否定的な言葉も使ってしまうこともあったので気をつけていきたい。
- ・食育の野菜の観察や収穫について、園での体験で足りない点は絵本や紙芝居などを活用し、補っている。また、高齢者に親しむ機会もなかなか取れないので絵本や紙芝居の活用や家庭でのエピソードや行事などから発展させて会話に盛り込む等しながら、取り組んでいきたいと思う。
- ・おむつ交換の際、個々に対応する度に手洗いが出来ない場合は、消毒を徹底しているが、今後も徹底していきたい。
- ・子ども達の体調の変化に気づけるよう、更に観察力をつけていきたいと思う。また、子ども達の感覚を刺激するような活動が少なかったと思うので、五感を刺激する遊びをもっと取り入れ、経験出来るようにしていきたい。